

相生市議会だより

第 134 号

令和元年8月10日

発行：相生市議会〈相生市旭一丁目1番3号 ☎23-7122〉

編集：議会報編集委員会



どろんこ遊び（あおば幼稚園）

☆☆☆議会を傍聴しませんか☆☆☆

次の定例会は、**9月3日（火）**から、開催する予定です。

本会議及び委員会の日程は、決まり次第、相生市のホームページに掲載します。

問合せ先：議会事務局 ☎23-7122

▶ <http://www.city.aioi.lg.jp/site/gikai/>

六月定例会は六月十八日から六月二十七日までの十日間にわたって開催されました。

今期定例会では、条例改正四件、補正予算一件、事件案件一件、人事案件一件、選挙一件、請願一件、意見書一件を審議し、すべての案件は、可決等されました。その主なものは六ページにまとめました。

一般質問は、九人の議員が行い、市当局の現状方針等考え方をただししました。その概要については、二〇五ページにまとめました。

六月議会から

(六月議会)
一般質問

防災について

たかはる 高 明
もりした 森 下

問

地震発生の恐怖や、近年、多くの犠牲者を伴う自然災害を目的の当たりになるとき、我々は防災意識をより高め、地域の皆様と知識・問題意識を共有し、災害発生時に自らの命を守り、力を合わせて隣人の命も守れるような組織を構築し、日頃から「きずな」を深め助け合う「互助」の精神を醸成することが大切と考えます。

自主防災組織の活動についてお示しください。

答

「互助」「共助」の重要な役割を担う自主防災組織の活動は、災害時、情報連絡・救助・避難誘導等の役割に際した活動を行っていただいています。平時には、各地区において自主的に実施する防災訓練のほか、

市が実施する防災訓練や防災講演会への参加、まちかど出前講座の受講などの活動を行っていただいています。

災害時要援護者名簿の活用についてお示しください。

災害時要援護者名簿には、住所・電話番号、個別支援計画には、支援の内容・家族等関係者への連絡先等が記載されており、支援対象者の把握、安否確認等の支援活動に活用していただくことになっていきます。

また、個別支援計画については、個別支援のノウハウを持ったケアマネジャーや相談支援員等、福祉関係者との連携を図ることで、より実効性の高い個別支援計画の策定ができるものと考えています。

- ① 相生ペーロン伝来百周年について
- ② 相生市看護専門学校について
- ③ 高齢者の運転免許自主返納について

くはひこ 彦 有
なかの 中 野

百周年事業検討委員会では、どのような意見が出されているのか。

か。

特に、市内小学校、中学校、高等学校の児童生徒を対象とするペーロン競漕の実施は、現在、多くのチームが課題とする後継者の育成にもつながるものであり、今後、学校や保護者等とも協議し、ぜひとも取り組みたいとの意向です。

本年度に看護専門学校での耐震診断を行うことは決まっているが、耐震化が不可能となった場合の考え方は。

新築や代替施設の検討と実施時期を含め財源調整を行っていくこととなります。

来年度の看護専門学校での教員採用について、どう考えているのか。

中・長期的な視点に基づいた教員体制の構築を図りたい。退職者の補充については、経験や専門領域等を考慮の上、適格な教員の採用を行いたい。

七十五歳以上の運転免許保有者はどれくらいおられるのか。

千九百七人で、運転免許保有者全体の

九・七%となっています。

自主返納された方のここ数年の状況はどうなのか。

平成二十五年年度は六十三件でしたが、近年の高齢者による重大事故の報道等の影響もあってか、平成二十八年で百三十二件、平成二十九年で百三十七件、平成三十年で百六十五件と年々増加傾向となっています。

近隣他市町では自主返納を呼びかける独自の事業を行っており、相生市としても考えるべきだと思いが、どう考えているのか。

他市町の事業を参考に、今後、市の現状に即した事業を研究していきたいと考えています。



相生市看護専門学校

幼・小・中学校のエアコン設置について

まき木 眞
みやくさ 宮 艸

エアコン設置の進捗状況について確認します。

今回の空調工事の要綱は、早期の着工と竣工です。エアコン本体や資材類は、発注を終え確保できています。工事は夏休みが始まる七月下旬から順次着手できるよう、関係者間で工程の調整を進めています。

授業時間を外した作業時間の確保ができませんか。

授業への影響を第一に考え、夏休み期間中や土曜・日曜等の休日及び平日の放課後等、子どもたちがいない時間に作業を行うことを前提で、工程を確保します。

工事の進め方や安全対策はどの様に行いますか。

工事箇所や資材置場の安全対策は、バリケード等で立入禁止し、子どもたちが資材等に触れない様に対策を行

い、注意喚起する看板を設置し、工事箇所との分離を行います。

また、資材の搬入出時の車両安全対策として、要所に警備員を配置し、子供たちの安全確保に努めます。

問 設置工事全体の取りまとめは教育委員会として、どの様に行いますか。

答 現在、工程や安全対策のため、工事業者、工事監理業者、学校・園及び市の担当者が定例調整会議を実施し、その中に教育委員会職員も出席して、工事全体の把握及び取りまとめを行っています。

工事着手後も、定例会を実施し、各現場の情報及び進捗状況を共有し、円滑に進めていきたいと考えています。

問 現状見通しの完成予定は。

答 完成予定は来年二月末ですが、目標は十二月末を目指しています。



アルコール依存症対策について

とこもと
井本 といど

問 近年、飲酒運転による痛ましい事故やアルコールを原因とする犯罪、事件に至らずとも社会的に問題となる事柄が後を絶ちません。

こうした問題が単なる飲酒によるものかアルコール依存症によるものが未知数ではありますが、それに関わらず健康上の観点からもアルコール害に対するきちんとした認識を持つことが大切です。

たばこに比べアルコール害に対する周知は弱く、気付いた時には何らかの病気になるいは依存症となっていることが危惧されます。

相生市の現状と、今後の取組みについて伺います。

答 平成三十年年度特定健診でアルコール摂取に起因することが多いγ-GTPの値が正常値を越え、要指導になった人は二千八百十六人中

二百六十四人、九・四％、医療が必要となった人は百十二人、四・〇％でした。

今後の取組みとしては、依存症になる前に、また生活習慣病や臓器障害、がんなどの疾患等影響が出る前に、アルコールの影響を理解していただくための過度な飲酒の害に関する正しい知識の普及啓発に取組み、アルコールの影響や依存症について気軽に相談できる体制を整えます。

また、実質的な相談窓口である赤穂健康福祉事務所や断酒会の情報等、ニーズに合った相談を継続して提供できるように相談支援体制を整えていきたいと考えています。

- ① 公共交通について
- ② 就労について

まさのぶ 正信
うしろだ 田 後

問 減少・ライフスタイルの変化により公共交通事業者を取り巻く環境が年々厳しさを増し、そうした中、運行本数の減少

や路線バスの撤退は子供や高齢者などの交通弱者の日常生活において深刻な問題となっております。

問 定住性を高めるための交通利便性の向上はどうなっているのか。

答 住民の意見を聞きながらバス事業者に対し利便性の向上を訴え、JRの発着時刻に合わせたバスの運行や待合時間の短縮、ICTによる利便性の向上等の改善により、乗降客についても減少がストップし横ばいとなっております。

問 移動制約者の人数また、移動手段の確保についてはどうなっているのか。

答 相生市の具体的な数値は把握できていませんが、概算では平成二十三年度末は、九千八百八十人、平成三十年末で一万三百九十三人となり十一・三％増加しています。

また、地域公共交通総合連携計画の最終年度の令和四年度末の移動制約者が多い地域と思われるのは、相生地区の五十二・三％となり、高齢者をはじめとした移動制約者、交通弱者への対策を改めて検討していきたいと考えています。

問 若者就労支援の各施策の状況は。

答 就職を希望する大學生をつなげ市内就職を支援するインターンシップ事業・相生市地域企業合同説明会を行い、また、在宅等の若者に就労支援を行う若者サポートステーション事業を実施しています。

問 情報提供はどのような状況か。

答 広報紙・ホームページ・市内各所にポスター掲示・パンフレットやチラシの配布等を行い、インターンシップ事業では、県内の大学に訪問し、担当者に依頼を行っています。

- ① 避難行動要支援者対策について
- ② 相生市のごみ出し支援事業について
- ③ プログラミング教育について

ひでき 秀樹
たなか 田

問 相生市の避難行動要支援者対策について、警戒レベル五段階の内、取るべき行動としてレベル二では避難場所

避難経路の確認、レベル三では高齢者らは避難行動開始とされていますが、要支援者の個別支援計画はどうなっているのかお答えください。

答 要支援者に対する個別支援計画については、自治会や民生委員のご協力をいただきながら作成しているところですが、把握しにくい部分もあり、今後の課題であると認識しています。

問 相生市のごみ出し支援事業について、現状及び支援対象者はどうなっているのかお伺いします。

答 平成二十八年四月からごみステーションまでごみを出すことができない高齢者や障害者等を対象にごみの個別収集を行っており、これまで二件の申し込みがありました。現在は利用者がいない状況となっています。今後、本市の現状や将来像を踏まえ、高齢化社会に対応した収集方法を検討していきたいと考えています。

問 二〇二〇年度に小中学校ではプログラミング教育が必修化されま

すが、現状及び今後の対応をお答えください。

答 平成二十九年度に全小学校のパソコン教室のパソコンを更新し、ハード整備を行っています。

ソフト面の整備として各学校では、今年度はプログラミング教育に関する情報収集と校内研修による教職員の理解を深める取組みをしています。

- ① 心と身体の健康づくりについて
- ② 地域公共交通について

いづけ 前川 郁典

問 「あいのまちあいおい健康プラン二二一」について、各部署の施策と庁内連絡会議の運用及び市民に対する情報発信と啓発・啓蒙について問う。

答 全ての市民が生きがいと活力ある生活を送り、健康寿命を延伸することを目標とし、赤ちゃんから高齢者まで、市民のライフステージごとの課題に応じた健康づくりの取組みを推進しま

す。

国民健康保険事業では、各種の健診の機会を提供し、健康意識の向上を図るとともに、生活習慣病改善に向けた保健指導の実施等、疾病の重症化予防と早期発見に努め、早期治療の推進により医療費の削減を図っています。

学校では、児童生徒の発達段階に応じて、八項目の学習や健康診断を実施し、生涯を通じて健康で安全な生活を送れるよう、健康増進の基礎を培っています。

本計画の基本理念の実現には、庁内の連携が重要です。したがって、庁内会議では、役割を明確にし、多方面からのアプローチを行っており、市民自らが、個々のライフステージにあった健康づくりに繋がるものと考えています。

問 相生市路線バスを守る会の活動状況と交通弱者対策について問う。

答 現状の問題点を、事業者と自治会とが、討議する場となっています。

相生市としては、路線バスを維持し、利用を促進する立場ですので、相生市公共交通総合連携計画の最終年度（令和四年度）を目前に、交通弱者の実情に即した新たな施策の検討を進めたいと考えています。

国民健康保険事業について

おさむ 岩崎 いづき

問 全国市長会の国民健康保険制度等に関する重点提言に対する見解をお聞かせください。

答 国保が安定的かつ持続的に運営できるよう、財政基盤の強化や医療費の増加等に対し、国による財政支援が必要であると認識しており、この提言に全面的に賛同し、国に対して強く要望していきたいと思っています。

問 一般会計からの繰り入れの増額を図り、国保税の連続引き上げを中止すべきではありませんか。

答 保険税を抑えるための一般会計からの繰り入れについては、国の方針として、法定外繰り入れの解消を求められていること、また、本市の財政状況等を勘案すると、基金の活用による市独自の激変緩和や保険者努力支援制度による交付金等を活用し、できるだけ保険者の負担増が大きくならないよう努めたいと考えています。

問 子育て支援の観点から、子どもの均等割保険税を減免すべきではありませんか。

答 全国市長会の提言でも、子どもに係る均等割保険税を軽減する支援制度創設を国に要望しており、本市においても、国において実施すべきと考え、引き続き全国市長会等を通じ国に要望していきます。

本市独自の導入につきましては、他の保険者の負担増につながることも、今回の国保制度改革の目的の一つは、法定外繰り入れを解消・削減することにあることから、現在のところ困難と考えています。

また、毎年一月に開催される相生市青少年健全育成市民大会において運動を積極的に推進していただいた団体等を表彰し、平成三十年年度では、JR西日本相生駅と那波中学校が受賞しました。成果としては、市民総ぐるみでのあいさつ運動を通して、地域で気軽に

「相生市民あいさつデー」としてあいさつ運動を実施しています。

また、例年、秋の交通安全運動と合わせて、自治会、消費生活研究会、幼稚園、小学校、中学校、保育所、高等学校、市内事業所に協力いただき

また、例年、秋の交通安全運動と合わせて、自治会、消費生活研究会、幼稚園、小学校、中学校、保育所、高等学校、市内事業所に協力いただき

また、例年、秋の交通安全運動と合わせて、自治会、消費生活研究会、幼稚園、小学校、中学校、保育所、高等学校、市内事業所に協力いただき

- ① 相生市民さわやかあいさつ運動について
- ② 学校教育について

たなかまさゆき
田中政幸

令和元年度現在、女性管理職の登用数は、市内小・中学校十名のうち、五名で割合は二十五%です。今後の取り組み目標は、第二次相生市男女共同参画プランにおいて令和四年度目標値が三十%となっており、現在も近隣市町に比べ先行的に登用を進めています。今後とも人材育成確保に努めていきます。

令和元年度現在、女性管理職の登用数は、市内小・中学校十名のうち、五名で割合は二十五%です。今後の取り組み目標は、第二次相生市男女共同参画プランにおいて令和四年度目標値が三十%となっており、現在も近隣市町に比べ先行的に登用を進めています。今後とも人材育成確保に努めていきます。

令和元年度現在、女性管理職の登用数は、市内小・中学校十名のうち、五名で割合は二十五%です。今後の取り組み目標は、第二次相生市男女共同参画プランにおいて令和四年度目標値が三十%となっており、現在も近隣市町に比べ先行的に登用を進めています。今後とも人材育成確保に努めていきます。



さわやかあいさつ運動
(那波中学校)

令和元年第2回（6月）定例会の議決結果議員別の賛否

【賛成 ○ 反対 ×】

議案等番号	議案等の名称	議決結果	田中	森下	中野	宮艸	土井	田中	前川	後田	渡邊	岩崎	楠田	三浦	大川	角石
			政幸	高明	有彦	真木	本子	秀樹	郁典	正信	慎治	修	道雄	隆利	孝之	茂美
議第2号	市道路線の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長のため、表決には加わりません。	○	○	○
議第3号	相生市自治功労者条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
議第4号	相生市税条例等の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
議第5号	相生市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
議第6号	相生市立図書館の設置及び管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		○	○	○
議第7号	令和元年度相生市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
請願第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
意見書案第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【議員名は議席順です】

六月議会で 決まったこと

【事件案件】

◇市道路線の変更について

・国道二号拡幅に伴い、福井若狭野一号線及び若狭野一号線の終点を変更するものです。

【条例】

◇相生市自治功労者条例の一部を改正する条例の制定について

・自治功労者の表彰等に関する欠格条項に、市税その他市に納付すべき徴収金等を特別の事情がなく滞納している者、及び市長が自治功労者として適当でないとする者を追加するものです。

◇相生市税条例等の一部を改正する条例の制定について

・地方税法等の改正により、軽自動車税の環境性能割の導入、及び現行の軽自動車税の「種別割」への名称変更や寄附金税額控除の改正に伴う規定の整理等を改正するものです。

◇相生市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【定について】

・災害弔慰金の支給等に関する法律等の改正により、半年賦償還及び月賦償還による償還方法の追加、保証人の必置義務の撤廃、貸付利率の引下げを改正するものです。

◇相生市立図書館の設置及び管理に関する条例の制定について

・令和二年度から指定管理者制度を導入し、指定管理者のもとで管理運営が行えるよう、全部改正するものです。

【予算】

◇令和元年度相生市一般会計補正予算

・主なものは、幼児教育・保育の無償化のためのシステム改修委託料、消費

【税引き上げに伴う影響緩和対策としてのプレミアム付商品券事業に係るシステム開発委託料、販売・受付会場開設に係る備品の販売業務追加等による負担金補助及び交付金等です。】

◇副市長の選任について
同意しました。
相生市緑ヶ丘四丁目七番二十三号
越智俊之 さん

【人事】

◇安室ダム水道用水供給企業団議会議員について選挙を行い、後田正信議員が当選しました。

◇少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度二分の一還元をはかるための、二〇二〇年度政府予算に係る意見書

【意見書】

六月議会で次の意見書が可決され、直ちに関係機関へ送付されました。

意見書

◇少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度二分の一還元をはかるための、二〇二〇年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願書

議会活動状況

- 6 / 10 議会報第 133 号発行
議会運営委員会
- 11 全国市議会議長会総会（東京都）
- 18 本会議 開会
- 19 本会議 再開
- 20 民生建設常任委員会
- 21 総務文教常任委員会
- 27 本会議 閉会
議会報告会検討委員会
- 7 / 1 議会報編集委員会
- 3 新潟県南魚沼市議会行政視察来相
- 4 西播磨市町議長会総会（姫路市）
- 11 ~ 12 議会運営委員会行政視察（静岡県藤枝市）
- 17 長野県駒ヶ根市議会行政視察来相
- 24 ~ 25 播但市議会議長会行政視察（青森県青森市）
- 26 議会報編集委員会
議会報告会検討委員会
- 30 長野県須坂市議会行政視察来相
青森県弘前市議会行政視察来相
兵庫県市議会議長会 総会（丹波篠山市）
- 31 山口県光市議会行政視察来相
- 8 / 7 兵庫県議会行政視察来相
- 8 埼玉県行田市議会行政視察来相



平成30年度政務活動費執行状況（平成30年4月分～平成31年3月分）

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に資するために、必要な経費の一部として、会派（所属議員が1人の場合を含む。）に対し議員1人あたり月額1万2千円が交付されるものです。

会派名等	会派人数等	交付額	支出額	残額（返還額）
緑風クラブ	6名	864,000円	532,611円	331,389円
輝相会	5名	720,000円	720,000円	0円
公明党	2名	288,000円	13,772円	274,228円
無会派（岩崎 修）	1名	144,000円	61,699円	82,301円

※詳しくは、市議会ホームページ（<http://www.city.aioi.lg.jp/site/gikai/>）でご覧いただけます。

●相生市議会だよりは再生紙を使用しています。